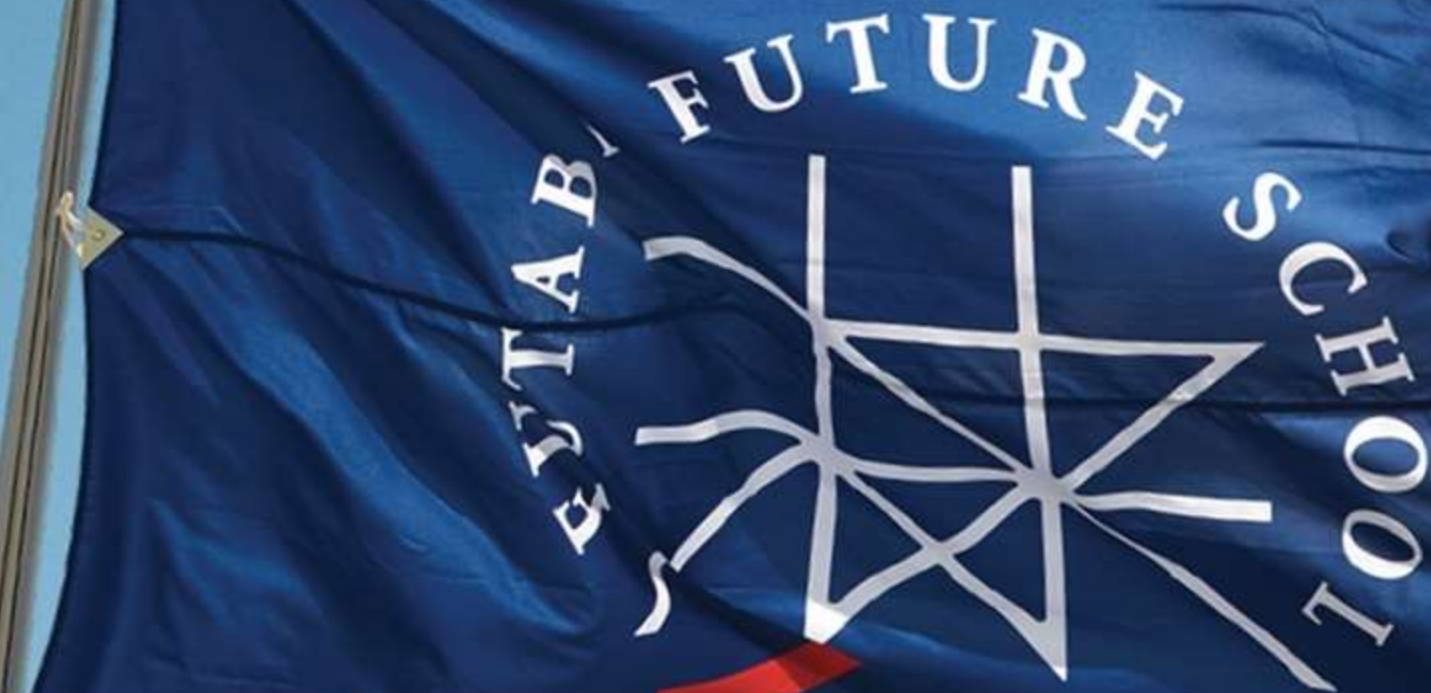


福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 第28回会議資料 R7.2.12浪江町防災交流センター



2024年 活動報告資料

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

2024年の主なトピックス



1 ふたば未来学園は創立10年目の節目

2015年に開校したふたば未来学園は2024年4月に創立10年目の節目を迎えた。ここをゴールではなくスタート地点と捉え、更なる発展を目指す。

2 併設中学校の生徒が中高の全学年に在籍

2019年に開校した併設中学校1期生が高校3年（今年3月卒業予定）となり、中高全学年に併設中の生徒が在籍し、中高一貫の体制が整った。

3 JFAアカデミー福島の生徒が共に学ぶ

4月にJFAアカデミー福島が本県に完全帰還し、開校時から静岡県の三島長陵校舎で学んでいたアカデミー生が本校で一緒に学習を始めた。

4 海外交流促進などグローバル教育が充実

海外研修や海外留学だけでなく、WWL事業の実施や海外からの訪問者の増加により、グローバル教育の環境が充実し国際人育成に繋がった。

高校の特色ある主な取組①



ニューヨーク研修 (UNIS-UN参加)
高校2年生が福島を発信 2024年3月



全国マイプロジェクトアワード 2024
全国大会入賞(6年連続) 2024年3月
マイプロジェクトアワード特別賞受賞



福大シンポジウム 次世代がつなぐ“あの日”
と未来～広島・神戸・福島『記憶の継承』
福島大学との連携 2024年3月



JFAアカデミー福島の生徒との対面式
アカデミー生福島に帰還 2024年4月



双来祭(文化祭)で地域に発信
探究・海外研修の成果報告 2024年6月



東北大学・UCL留学生交流会
東北大学との連携 2024年6月

高校の特色ある主な取組②



教員研修探究月次会 定期開催
探究指導の充実 2024年6月～



START2024(山形県立東桜学館英語プレゼンコンテスト)
英語プレゼンテーション 2024年7月



ふくしま演劇教育シンポジウム 開催
演劇教育10年の成果発表 2024年7月



イスラエルの高校生との交流研修
福島大学との連携 2024年8月



第29回全国中学・高校ディベート選手権
中高全国大会出場 2024年8月



新潟県WWL生徒国際会議 参加
生徒が会議運営学ぶ 2024年9月

高校の特色ある主な取組③



東北大学 学問論演習 開始
東北大学との連携 2024年10月



探究スタートアップラボ 研修
カタリバとの連携 2024年10月



山形・東桜学館高校探究発表会 参加
探究プレゼンカの向上 2024年10月



日本・ASEAN スポーツx SDGs 交流
東南アジア高校生交流 2024年10月



高校1年 広島研修(10/25-27)
広島国泰寺高校と連携 2024年10月



データサイエンス講座 開催
民間企業との協働 2024年11月

高校の特色ある主な取組④



WWLオンライン講演会 開催
シカゴ・デュポール大学宮本ゆき先生来校
事業連携校とハイブリッド開催 2024年11月



ふくしまアドバンスト・ラーニング・ゼミ 設立
生徒国際会議開催準備 2024年12月



サイエンスキャスル2024関東大会
理科研究発表（2年連続） 2024年12月



会津大学の留学生との交流研修
会津大学との連携 2024年12月



高校1年 ドイツ研修（1/6-15）
環境教育・歴史教育 2024年1月



マイプロジェクト・アワード福島県サミット
探究発表（14名参加） 2025年1月

中学校の特色ある主な取組①



リーダー学 (5月20日)
小泉進次郎氏からリーダーについて学ぶ



小泉氏との哲学対話 (5月20日)
この日は特別小泉氏と自己決定について対話



未来創造学発表会 (9月26日)
探究深化のため中学校のみで初の開催



芸術発表会 (11月20日)
今年は合唱以外にミュージカルにも緒戦



イノベ構想体験ツアー (11月29日)
双葉郡にあるFH2RとNARRECにて研修



最後の演劇ワークショップ (1月30日)
海外研修に向けて、体を使った英語劇に挑戦

中学校の特色ある主な取組②



東京グローバルゲートウェイ研修
(中学校1学年 3月14~15日)
楽しみながら英語コミュニケーション



ブリティッシュ・ヒルズ研修
(中学校2学年 3月14~15日)
外国人講師から語学と海外文化学ぶ



ニュージーランド研修
(中学校3学年 3月5日~11日)
英語学習の成果を海外で発揮



BHBI校の生徒受入(5月10日)
ニュージーランド連携校の生徒来校



中学校英語弁論大会(9月13日)
代表生徒が予選優勝・上位大会出場



グローバルスタディ科(12月5日)
自分の探究活動を英語でプレゼン

中高スポーツ分野の主な取組



バドミントン部(9月インドネシア遠征)
全中大会・国体少年男子優勝



レスリング部(8月ヨルダン遠征)
世界選手権・インターハイ入賞



野球部(11月福島県21世紀杯表彰)
秋季選手権県大会初のベスト4



男子サッカー部(2月フランクフルト)
5年振りにドイツ海外研修再開



女子サッカー部(1月香港代表交流)
県選手権準優勝・東北大会出場



富岡高校卒バドミントン部5名(7月本校)
ふたばのオリンピック選手壮行会

双葉郡と連携した主な取組 (主に本校会場)



双葉郡子供未来会議 (1月22日)
大学の先生を招いた教員研修会



バドミントン交流会 (5月18日)
本校高校生が双葉郡の生徒と交流



ふたばミーティング (6月24日)
双葉郡中学校とのオンライン交流



ふたば生徒会連合 (7月24日)
双葉郡生徒会が一堂に会して活動



双葉郡中高生交流会 (8月1日)
秋元氏の協力で著名人の特別授業を実施



ふるさと創造学サミット (11月30日)
双葉郡の学校一堂に会して探究活動を発表

事業評価（生徒の資質能力の伸長）





高校3年次 卒業時アンケート

質問項目		4	3	2	1
Q 1 未来創造探究は、あなたの卒業後の 具体的な進路選択 に影響を及ぼしましたか？	8期生	20.0	30.0	30.8	19.2
	7期生	14.1	49.4	31.8	4.7
	6期生	16.9	41.1	30.6	11.3
	5期生	25.2	41.7	25.2	7.8
	4期生	23.4	42.3	27.9	6.3
	3期生	18.6	31.9	34.5	15.0
Q 2 未来創造探究での活動を、 入社試験や入学試験に活用 しましたか？	8期生	22.5	24.2	21.7	31.7
	7期生	23.5	20.0	35.3	21.2
	6期生	24.2	31.5	29.8	14.5
	5期生	25.2	32.0	22.3	24.3
	4期生	32.7	33.6	20.9	12.7
	3期生	24.8	34.5	22.1	18.6
Q 3 未来創造探究は、あなたが 将来「社会とどう関わって生きていきたいか」 を見出すことに繋がりましたか？	8期生	21.7	55.0	16.7	6.7
	7期生	15.3	61.2	16.5	7.1
	6期生	29.0	56.5	12.9	1.6
	5期生	27.2	60.2	9.7	2.9
	4期生	31.3	57.1	10.7	0.9
	3期生	25.7	54.9	16.8	2.7
Q 4 未来創造探究は、あなたが 自分の価値観を考えること に繋がりましたか？	8期生	25.0	50.8	15.0	7.6
	7期生	25.9	50.6	17.6	5.9
	6期生	33.9	35.2	26.2	9.7
	5期生	28.2	59.2	9.7	2.9
	4期生	35.7	54.5	8.9	0.9
	3期生	38.9	47.8	10.6	2.7

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）構築支援事業指定期間（R5-7）

地域との協働による高等学校改革推進事業「グローバル型」指定期間（R2-4）

高校3年次 ルーブリック評価

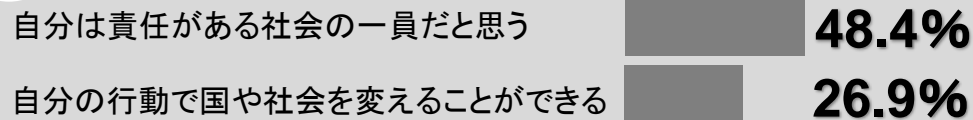
I 	能動的市民性 社会を支える当事者としての意識を持ち、地域や国内外の未来を真剣に考えることができる。
J 	自分を変える力 自分の言動や行動を俯瞰して見つめ直し、常に改善しようとする意識を持ち、次の行動や、将来の夢に繋げることができる。



ふたば未来学園
ルーブリック詳細

	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生
C-1. 思考力	2.43	2.71	3.18	2.77	3.13	3.18	2.64	3.39
I. 能動的市民性	1.91	2.84	3.21	2.81	2.92	3.26	2.54	3.17
J. 自分を変える力	2.04	2.63	3.15	2.78	3.04	3.03	2.69	3.44
平均	1.99	2.63	3.10	2.62	2.90	3.03	2.56	3.18

比較 日本財団 世界の18歳意識調査の日本の結果（2021年実施）



深化ポイント

未来創造探究が、自らの課題を発見しながら
自己の生き方在り方を模索することにつながる

・能動的市民性・自分を変える力（メタ認知）↑

今後の課題

探究が、自立した学習者の姿勢につながるか

事業評価(数値目標の達成度)



◎ 地域との協働による高等学校教育改革推進事業の指標を活用した高等学校の事業評価

1. 本構想において実現する成果 目標の設定 (アウトカム)

項目	2023年	2024年	目標値
	昨年	今年	
a 本校で規定する 人材育成要件・ ループリックレベル の3年次最終調査 における平均値	2.56	3.18	3.5
b 卒業時における、 将来的な地域への 貢献意識(社会との 関わり)や、本事業 による自身の価値観 への影響の肯定的意 見の割合で70%以上	76.5%	76.2%	70%
c 本事業に関する 保護者アンケート による肯定的意見 の割合	81.7%	84.4%	70%

2. 地域人材を育成する高校としての活動指標 (アウトプット)

項目		2023年	2024年	目標値
		昨年	今年	
a 地域の個人、団体との協働による 課題探究プロジェクト数	目標	50	50	50pj
	実績	58	93	
b 視察、研修、発表会聴講等 で来校する教育関係者、地 域関係者等の人数	目標	250	250	250人
	実績	467 +a	606 +a	
c 生徒の外部発表、 コンテスト応募件数	目標	45	45	45件
	実績	58	55 +a	

3. 地域人材を育成する地域としての活動指標 (アウトプット)

項目		2023年	2024年	目標値
		去年	今年	
a 本校の活動に関わっていただく 地域の活動団体または個人の年 間のべ件数	目標	180	200	200人
	実績	310	99 +a (集計中)	

青字…昨年より増加、赤字…昨年より減少

* 2024年の数値は2025年1月31日現在の数値です

高校卒業生の進路状況 (R6.3月まで)



	進学					就職			留学・その他
	四年制大学			短期大学	専修学校	プロ・実業団	企業	公務員	
	国公立	私立	計						
7期生	9	56	65	2	25	10	9	0	3
6期生	12	65	77	3	36	5	15	3	6
5期生	8	59	67	3	34	7	21	0	6
4期生	2	66	68	7	26	6	18	8	4
3期生	8	64	72	3	36	10	17	1	1
2期生	8	63	71	2	19	4	23	3	4
1期生	11	45	56	8	39	6	23	3	5

←R6年3月

【国公立大学】 北海道大学 東北大学 弘前大学 秋田大学 会津大学 福島大学 福島県医大学
*合格のみも掲載 茨城大学 筑波大学 宇都宮大学 千葉大学 東京外国語大学 東京学芸大学 等

【私立大学】 早稲田大学 立教大学 青山学院大学 明治大学 中央大学 法政大学
津田塾大学 専修大学 日本大学 日本体育大学 立命館大学 等

【短期大学】 弘前医療福祉短期大学部 米沢女子短期大学 会津短期大学部 いわき短期大学 等

【専修学校等】 アグリカレッジ福島 テクノアカデミー浜 松村看護専門学校 いわきコンピュータカレッジ 等

【就職】 会津オリンパス あぶくま信用金庫 イオンリテール東北 JAさくら農業協同組合
東京電力HD トヨタ自動車 福島イノベーションコースト構想推進機構 高野病院 等

【プロ・実業団】 NTT東日本 再春館製薬 トナミ運輸 日立化成 ヨネックス アルビレックス新潟
ジェフユナイテッド市原・千葉 日テレ・ベレーザ V.ファーレン長崎 福島レッドホープス 等

【公務員】 双葉郡水道企業団 福島県警察官 海上自衛隊自衛官候補生 陸上自衛隊自衛官候補生 等

ふたば未来学園のこれまでの歩み



- 平成25年 7月 「福島県双葉郡教育復興ビジョン」取りまとめ
12月 中高一貫校に関する検討会(福島県)の設置
- 平成26年 6月 中高一貫校に関する検討会構想とりまとめ(教育課程、生徒募集方針等を決定)
7月～ 第I期 施設整備(広野中学校仮設校舎の整備等)
- 平成27年 4月 福島県立ふたば未来学園高等学校開校**
※ 定員(120名)を超える152名の出願。急遽定員を160名へ拡大するとともに、志願者は受検を経て全員入学。
開校に伴い双葉地区県立高校5校(サテライト校)は募集停止
- 4月 文部科学省からスーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)指定
6月 平成31年度に併設中学校開校を公表(9月 第II期 施設整備(新校舎の整備等))
- 平成31年4月 福島県立ふたば未来学園中学校開校、本校舎に移転**
- 令和 2年4月 文部科学省から高等学校教育改革推進事業(グローバル型)指定
令和 3年4月～ JFAアカデミー福島(本校三島長陵校舎)が段階的に帰還開始
令和 4年4月 中高一貫一期生が高校入学
令和 5年4月 文部科学省からWWLコンソーシアム構築支援事業・拠点校に指定(東北初)
令和 6年4月 JFAアカデミー福島(三島長陵校舎)完全帰還、文部科学省DXハイスクール指定
令和 7年3月 中高一貫1期生が高校卒業予定(秋頃に10周年記念式典を開催予定)

※ 学園開校10年目に形上の完成年度を迎えたが、今後の学校経営が鍵！

【課題】一層注力が必要になる事項



1. 令和7年度以降の学校運営への必要な支援の継続

- ふたば未来学園は、令和6年度に三島長陵校舎生徒の帰還と中高一貫生徒の全学年在籍でいわゆる形上の完成年度を迎えたが、ここからが実質的な学校経営のスタートである。これから双葉郡内への住民の帰還や移住が一層進むことを踏まえ、輝き続ける学校の維持には各方面からの支援の継続が必要。
- **特に特色ある教育活動(海外研修含)や寄宿舎運営、教育相談に係る財政支援の継続は不可欠である。**

2. 廃炉作業が続く中での活力ある地域づくり

- 本校は、福島復興再生特措法等が目指す域外からの住民の移住等の新たな活力の呼び込みにも貢献。今後30年程度続く廃炉作業の終了まで活力ある地域づくりには、教育を軸として双葉郡の人材育成と域外人材の協働を通じて、新たな活力の創造の基盤となる、本校のような地域の教育拠点が必要である。

3. 福島イノベーション・コースト構想・福島県双葉郡教育復興ビジョンの実現

- 福島イノベーション・コースト構想や福島県双葉郡教育復興ビジョンの実現には、地元から構想等を推進する人材を育成することが不可欠。本校生は、探究活動と海外研修が密接に連携したカリキュラムによりグローバルな協働力や発信力を備え、海外での福島の現状発信により風評・風化対策にも貢献しており、構想やビジョンの推進に寄与する人材として育成する必要がある。

4. 福島国際研究教育機構 F-REI (エフレイ) との連携

- 本校は、福島国際研究教育機構F-REI(エフレイ)の世界レベルの研究者との連携による教育プログラム開発だけでなく、研究者等の子育ての環境や多言語対応などの生活環境基盤としての役割も重要。

福島県立ふたば未来学園は
廃炉が終わる30年後にも
輝き続ける学校を目指す！

ふたば未来学園

検索

←WEBをチェック

「感謝」と「挑戦」を大切にしていきたい。

We value gratitude and challenges.

